

第3学年 美術科学習指導案

題材名 主張する美術 11 時間完了 (本時 1/11)
(日本文教出版 『中学美術 2・3 下』 P. 8-9)

題材のねらい

- ・自分あるいは社会の問題を社会に伝えるための大きな力を、美術が持っていることを理解する。
- ・今、関心のある問題に対してどのように自覚し、解決しようとするのかを考え、美術表現を通して他者に伝えることができる。

本時のねらい

鑑賞を通して、美術が持っている他者に伝える力を理解し、自ら関心がある問題への自覚を深めることができる。

準備物

教科書、ウェビング用紙、ホワイトボード、ジャン・ホァンの図版資料

本時の学習活動

時間	学習活動の流れ	指導上の留意点
導入 20分	<p>1 グループ単位で、ジャン・ホアンの2009年のインスタレーション作品について話し合う。</p> <p>①テーマを考えよう</p> <p>②作者は何を訴えているのか？ メッセージを推測しよう</p> <p>2 グループで出てきた意見を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ジャン・ホアンの2つの作品から選択して話し合う。進行係と記録者を決め、出てきた意見を簡潔に書き留める。 建造物と木や猿、全体の構造に注目させ、作品からテーマとメッセージを読みとらせる。 受け止める側に多様な意見や考えがあることを知らせ、自分なりに託されたメッセージを焦点化していくように示唆する。
展開 15分	<p>3 教科書にあるウォーホルやセザールの作品を解説する。</p> <p>4 自分が今、関心を持っている社会問題や自分の周囲の問題を用紙に書き出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 美術作品には作者が込めた問題意識や伝えたいメッセージがあることを理解させる。 ウェビング（マッピング）法などで関心や知識の方向性を明らかにしていく。
深める 10分	<p>5 関心の方向を絞り、テーマを決め他者に伝えたいメッセージを検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 問題に対する肯定的立場、否定的立場など、自分の立ち位置を明確にし、メッセージを考えさせる。
まとめ 5分	<p>6 トリエナーレへ鑑賞に出かけることを伝え、当日の鑑賞の視点を伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作品の題名も踏まえ、作者が作品に込めたメッセージを考えながら、鑑賞することを伝える。

評価

自らが関心を持っている問題への自覚を深め、その考えを美術表現で表そうとする意欲を持つことができたか。

ジャン・ホアンの作品《100 Sages in a Bamboo Forest》から考えよう

作品の中に発見できたもの・こと

Five horizontal rounded rectangular boxes, each with an arrow pointing to the right, intended for students to list observations from the artwork.

それが持つ意味は？

A large rounded rectangular box intended for students to write their interpretation of the meaning of the artwork.

ジャン・ホアンは作品で何を伝えたい？

A large horizontal oval shape intended for students to write their answer to the question above.

自分が興味・関心のある問題・事柄

A large rounded rectangular box intended for students to write a question or issue they are interested in.

スタート
最初に頭に浮かんだこと

私が最も関心のある問題はこれだ！

A large rectangular box intended for students to write the question or issue they are most interested in.